



Harmonic Drive Systems Inc.

株式会社 ハーモニック・ドライブ・システムズ

株式会社 ハーモニック・ドライブ・システムズ

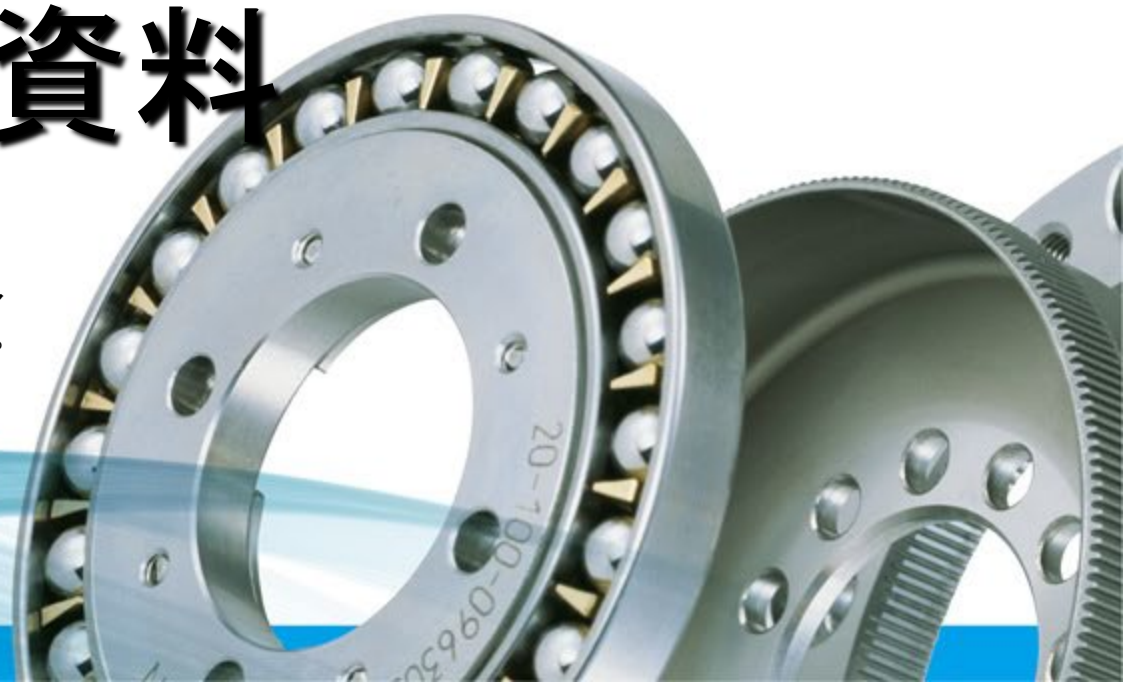
2026年3月期

第2四半期(中間期)

決算説明資料

2025年11月19日

このプレゼンテーション資料には、2025年11月19日現在の将来に関する予想が含まれております。この予想は当社経営者の判断に基づくものであり、事業環境の変化等のリスクや不確定要因を含んでおります。そのため、実際の業績は、これら見通しと大きく異なる結果となる場合があることをご了承願います。



2026年3月期 第2四半期(中間期) 決算の概況

第2四半期(中間期) 連結業績(対業績予想比)

単位: 百万円

	業績予想(5月14日発表)		26年3月期第2四半期 (中間期)		対業績予想比	
	金 額	百分比 (%)	金 額	百分比 (%)	増減額	増減率 (%)
売上高	27,000	100.0	27,838	100.0	838	3.1
営業利益	300	1.1	465	1.7	165	55.2
経常利益	200	0.7	502	1.8	302	151.4
中間純利益	300	1.1	317	1.1	17	5.7
EPS (円)	3.16	—	3.35	—	0.18	—

※中間純利益は、親会社株主に帰属する中間純利益の額を表示しております。

第2四半期(中間期) 連結業績(対前年同期比)

単位: 百万円

	25年3月期第2四半期(中間期)		26年3月期第2四半期(中間期)		対前年同期比	
	金 額	百分比 (%)	金 額	百分比 (%)	増減額	増減率 (%)
売上高	26,559	100.0	27,838	100.0	1,279	4.8
営業利益	▲637	—	465	1.7	1,103	—
経常利益	▲828	—	502	1.8	1,331	—
中間純利益	▲850	—	317	1.1	1,167	—
EPS (円)	▲8.95	—	3.35	—	12.30	—
設備投資額	2,403	—	3,467	—	1,063	44.3
減価償却費	3,936	—	3,547	—	▲389	▲9.9
研究開発費	1,936	—	1,879	—	▲57	▲2.9

※中間純利益は、親会社株主に帰属する中間純利益の額を表示しております。
※減価償却費は有形固定資産、無形固定資産に係る償却費の合計額を表示しております。

第2四半期(中間期) 主要グループ会社の業績

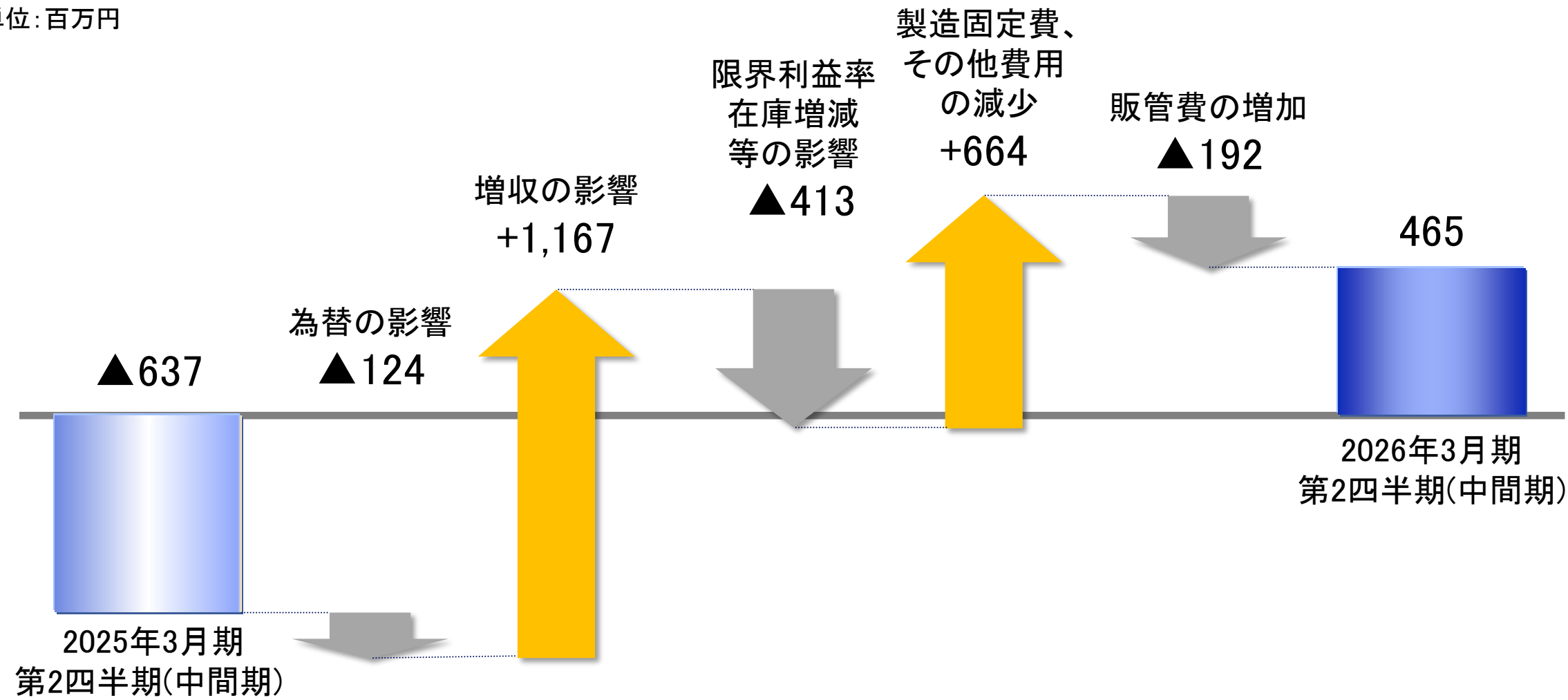
単位: 百万円

	出資比率	売上高		営業利益	
		金 額	対前期 増減率(%)	金 額	対前期 増減率(%)
※2 米国子会社(連結) エイチ・ディ・システムズ (ハーモニック・ドライブ・エルエルシー)	100% (100%)	5,509	▲4.9	▲14	—
(株)ハーモニック・エイディ	100%	1,117	14.2	2	—
(株)ハーモニックプレシジョン	100%	1,532	1.3	123	—
※3 哈默纳科(上海)商贸有限公司 (中国)	100%	2,279	▲24.2	314	▲5.3
※4 ハーモニック・ドライブ・エスイー (ドイツ)	100%	7,733	▲4.9	519	104.5

※1 海外子会社の決算日は12月31日です。
※2 為替レート 2024/ 1月～6月:1US\$ = 152.25円 2025/ 1月～6月:1US\$ = 148.60円
※3 為替レート 2024/ 1月～6月:1元 = 21.05円 2025/ 1月～6月:1元 = 20.47円
※4 為替レート 2024/ 1月～6月:1€ = 164.60円 2025/ 1月～6月:1€ = 162.15円

第2四半期(中間期) 連結営業利益 対前年同期比増減要因

単位: 百万円



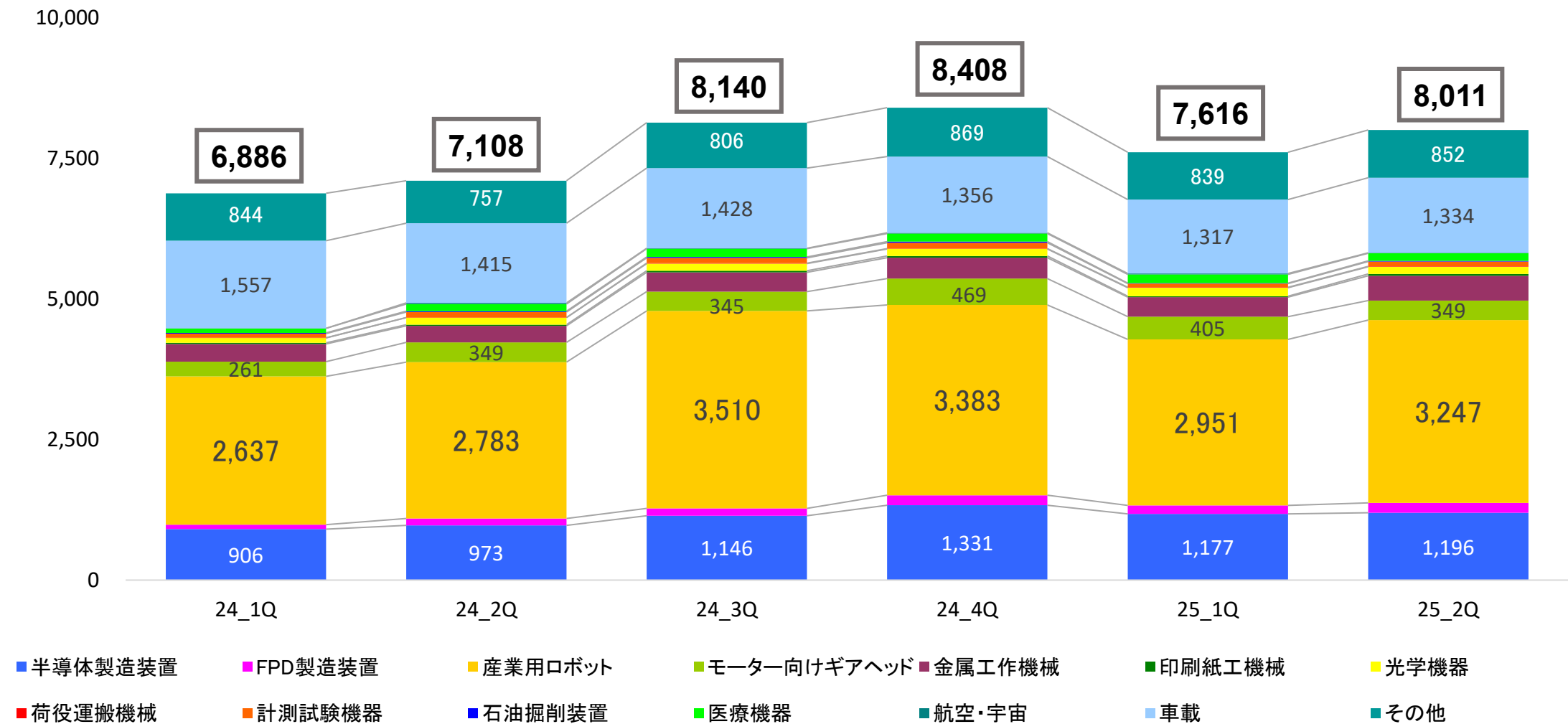
第2四半期(中間期) 単体業績(対前年同期比)

単位:百万円

	25年3月期第2四半期(中間期)		26年3月期第2四半期(中間期)		対前年同期比	
	金 額	百分比 (%)	金 額	百分比 (%)	増減額	増減率 (%)
売上高	13,995	100.0	15,628	100.0	1,633	11.7
営業利益	▲727	—	250	1.6	978	—
経常利益	▲699	—	151	1.0	851	—
中間純利益	▲701	—	206	1.3	908	—
EPS (円)	▲7.38	—	2.19	—	9.57	—
設備投資額	1,343	—	1,298	—	▲44	▲3.3
減価償却費	2,175	—	1,984	—	▲190	▲8.8
研究開発費	1,186	—	1,164	—	▲21	▲1.8

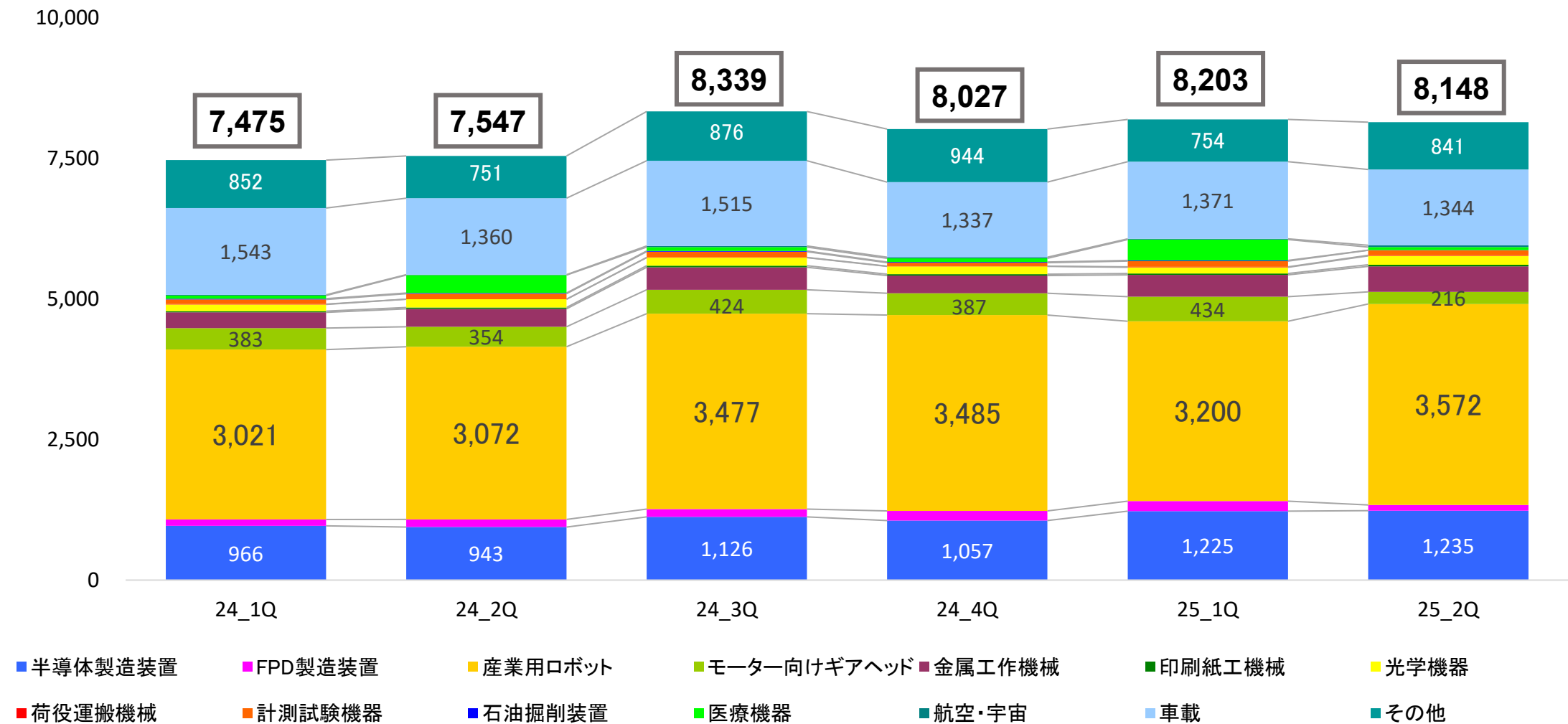
単体用途別売上高【四半期】

単位: 百万円



単体用途別受注高【四半期】

単位: 百万円



連結資産の状況

単位: 百万円

120,000

100,000

80,000

60,000

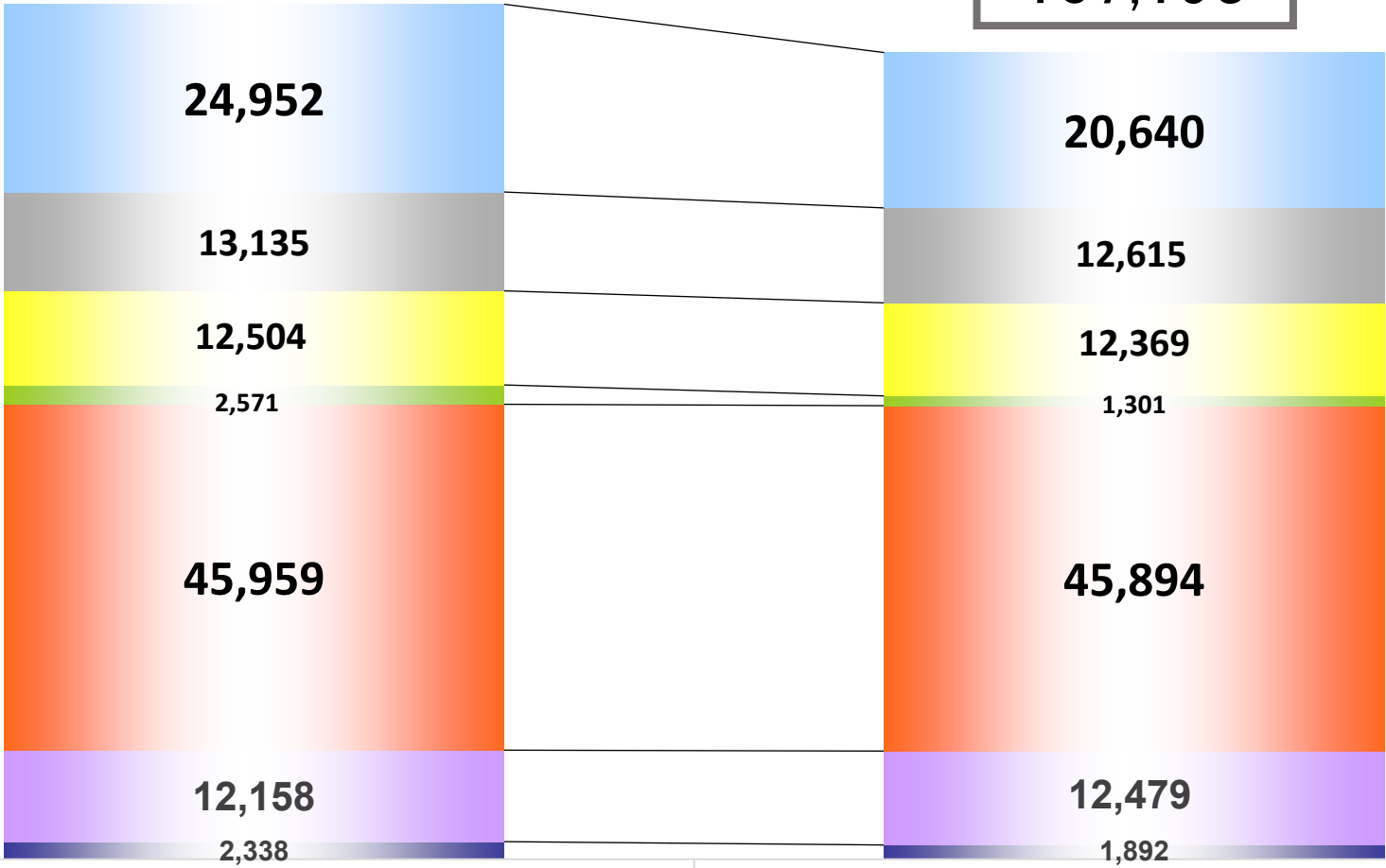
40,000

20,000

0

113,621

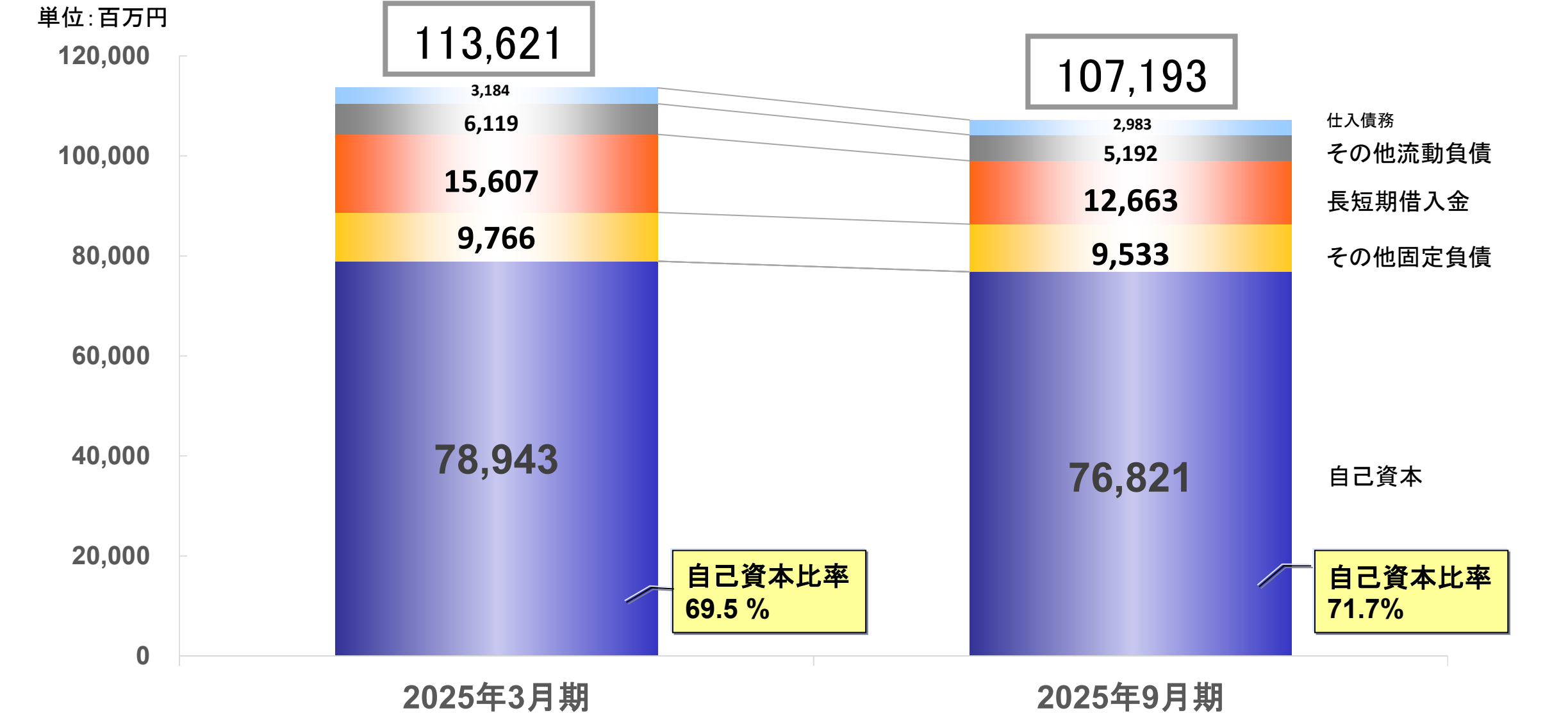
107,193



2025年3月期

2025年9月期

連結負債純資産の状況



連結キャッシュ・フローの状況

単位: 百万円

	2025年3月期 第2四半期(中間期)	2026年3月期 第2四半期(中間期)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,161	3,880
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 3,501	▲ 2,897
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 2,600	▲ 5,074
換算差額	1,253	▲ 252
現金及び現金同等物の増(▲減)額	▲ 1,686	▲ 4,343
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,254	18,579

今期の業績予想

2026年3月期 連結業績予想

単位: 百万円	25年3月期		26年3月期(予想)		対前年同期比	
	金 額	百分比 (%)	金 額	百分比 (%)	増減額	増減率 (%)
売上高	55,645	100.0	57,000	100.0	1,354	2.4
営業利益	6	0.0	1,500	2.6	1,493	—
経常利益	151	0.3	1,500	2.6	1,348	—
当期純利益	3,473	6.2	1,300	2.3	▲2,173	▲62.6
EPS (円)	36.57	—	13.73	—	▲22.84	—
設備投資額	3,765	—	6,100	—	2,334	62.0
減価償却費	8,023	—	6,700	—	▲1,323	▲16.5
研究開発費	3,776	—	3,900	—	123	3.3

※26年3月期(予想)の前提為替レート: 1US\$ = ¥142.50 1€ = ¥156.00 1元 = ¥20.00
※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益の額を表示しております。
※減価償却費は有形固定資産、無形固定資産に係る償却費の合計額を表示しております。

2026年3月期 単体業績予想

単位: 百万円	25年3月期		26年3月期(予想)		対前年同期比	
	金 額	百分比 (%)	金 額	百分比 (%)	増減額	増減率 (%)
売上高	30,544	100.0	32,300	100.0	1,755	10.8
営業利益	▲187	—	200	0.6	387	—
経常利益	187	0.6	0	0.0	▲187	—
当期純利益	4,174	13.7	150	0.5	▲4,024	▲96.4
EPS (円)	43.96	—	1.58	—	▲42.38	—
設備投資額	1,889	—	4,100	—	2,210	117.0
減価償却費	4,504	—	3,700	—	▲804	▲17.9
研究開発費	2,365	—	2,600	—	234	9.9

※26年3月期(予想)の前提為替レート: 1US\$ = ¥142.50 1€ = ¥156.00 1元 = ¥20.00

2026年3月期 主要グループ会社の業績予想

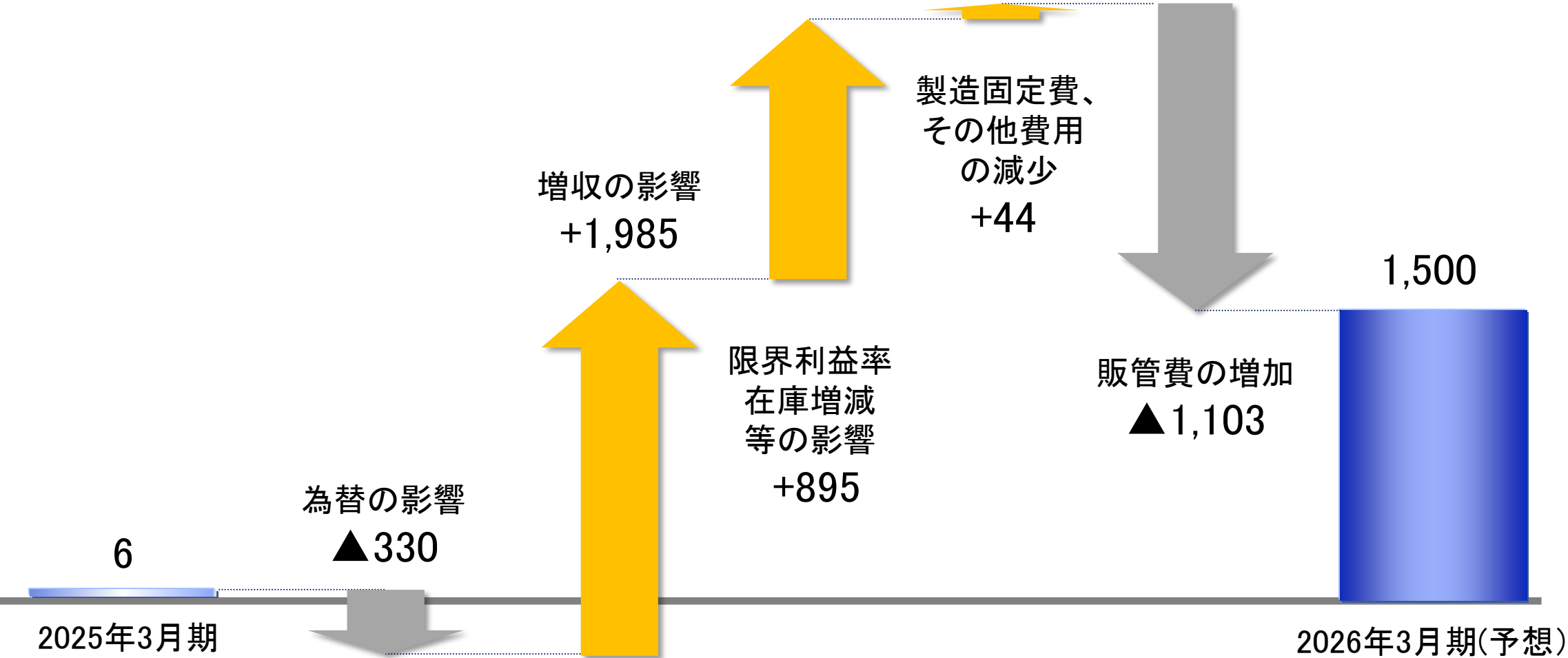
単位: 百万円

	出資比率	売上高		営業利益	
		金 額	対前年同期 増減率(%)	金 額	対前年同期 増減率(%)
※2 米国子会社(連結) エイチ・ディ・システムズ (ハーモニック・ドライブ・エルエルシー)	100% (100%)	11,100	▲4.7	500	▲12.4
(株)ハーモニック・エイディ	100%	2,300	11.7	0	—
(株)ハーモニックプレシジョン	100%	3,400	9.4	100	—
※3 哈默纳科(上海)商贸有限公司 (中国)	100%	3,800	▲32.4	300	▲41.1
※4 ハーモニック・ドライブ・エスイー (ドイツ)	100%	16,000	▲5.0	1,300	121.4

※1 海外子会社の決算日は12月31日です。
※2 為替レート 2024/12期: 1US\$ = 151.58円 2025/12期予想: 1US\$ = 142.50円
※3 為替レート 2024/12期: 1元 = 21.02円 2025/12期予想: 1元 = 20.00円
※4 為替レート 2024/12期: 1€ = 163.95円 2025/12期予想: 1€ = 156.00円

2026年3月期 連結営業利益 対前期比増減要因予想

単位：百万円



今後の展望

1. 上期の需要動向振り返り

1-1. 連結 地域別の受注状況

欧州経済停滞の懸念はあるも、連結全体では回復基調

北米※1

AIロボット※2向け大口受注により、前年同期比で増加

欧州※1

新規顧客案件獲得に注力し、受注は底堅く推移

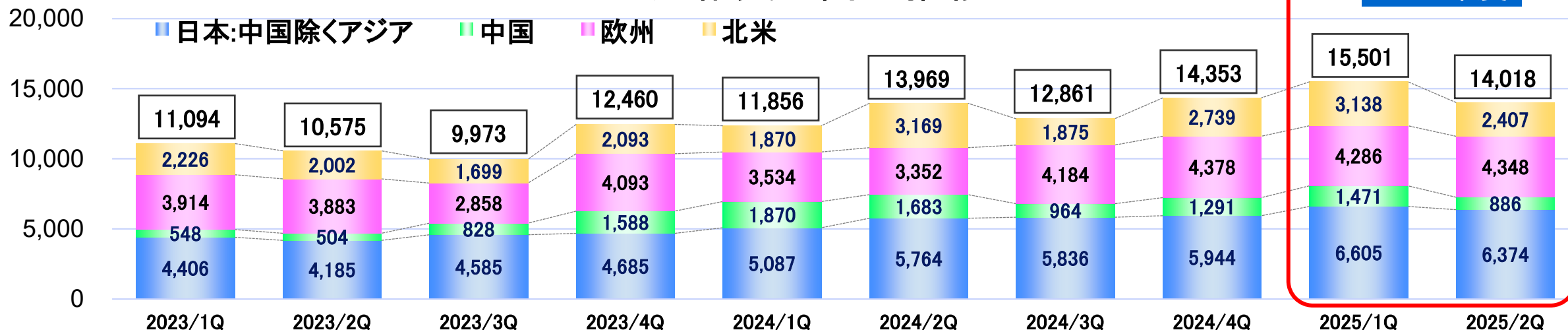
中国※1

産業用ロボット向けの受注は減少しているが、半導体製造装置向けの受注は増加

日本※1

産業用ロボット向け受注が前年同期比で大幅に増加

単位: 百万円

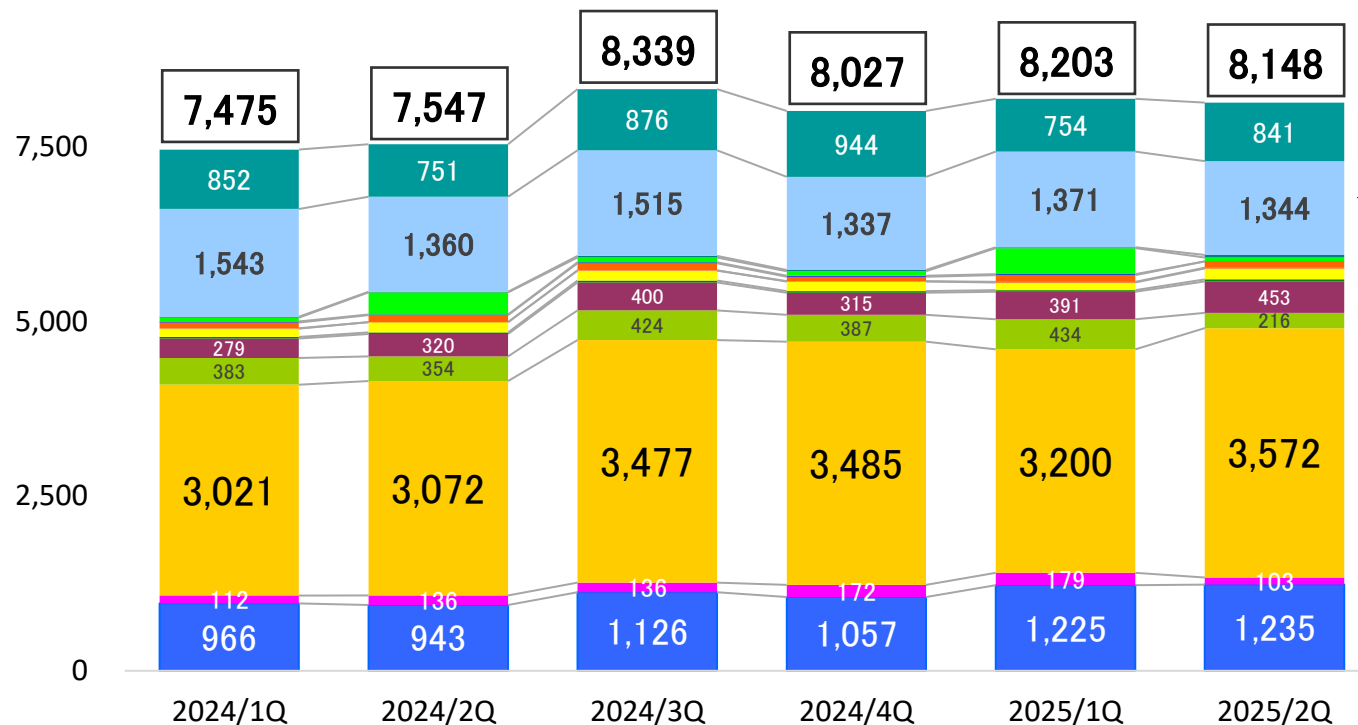


1-2. 単体用途別受注状況

単位: 百万円

10,000

単体用途別受注高の推移



- 半導体製造装置
- FPD製造装置
- 産業用ロボット
- モーター向けギアヘッド
- 金属工作機械
- 印刷紙工機械
- 光学機器
- 荷役運搬機械
- 計測試験機器
- 石油掘削装置
- 医療機器
- 航空・宇宙
- 車載
- その他

2025年度上期状況

車載

- ・日系完成車メーカーからの受注は低水準ながらも計画通りに推移

産業用ロボット

- ・国内ロボットメーカー向けが大幅に増加
- ➡お客様における当社製品在庫の適正化
- ➡国内ロボットメーカーの中国向け販売増

半導体製造装置

- ・AI関連を中心とした先端半導体が需要を牽引するが、市場の完全な回復には至らず

2. 2025年度上期の取組み

2-1. 2024-2026中期経営計画基本方針

「価値創出と変革」への挑戦

①何をしていくのか

収益性を重視した全事業の持続的な成長

②そのために何が必要なのか

環境変化に適合できる経営資源（ひと、もの、かね、情報）の強化

③サステナビリティ

未来に続く企業価値向上への取り組み

2-2-1. 2025年度上期における取組み

①収益性を重視した全事業の持続的な成長

➤ 新たな成長ドライバーの開拓

- ・AIロボット向けは約15社からの引き合いに対応 ➡ スタートアップ1社量産に移行(北米)
- ・ロボットハンド開発において複数社と協業
- ・アジア市場での新規顧客獲得のためサーボ・ダイナミクス社※と戦略的販売契約締結

※シンガポールのISDNホールディングス傘下の企業

➤ 顧客期待値に応えるQCDS+Speedの徹底

- ・2024年度に発足した全社コスト革新PJの推進
- 2025年度上期営業利益を約4億円改善(値上げ効果含む)
- ・中国現地パートナーとの協業
- ➡中国現地調達・組立体制の構築
- ➡エンドユーザーの評価開始

2-2-2. 2025年度上期における取組み

②経営資源の強化

➤ 工場IoT化

- ・MESの穂高工場への展開➡DX推進による生産リードタイム短縮に着手
(想定効果: 約16,000時間/年の間接工数削減)

➤ 資本効率を意識した成長投資

- ・投資費用削減・スペース最小化・生産性を考慮した最適な設備選定と遊休設備の活用

③未来に続く企業価値向上への取組み

➤ サステナビリティ基本方針に基づく活動

- ・GHG排出量の第三者検証をScope1,2に加え、Scope3へ拡大
- ・機関投資家と社外取締役の対話実施(統合報告書に掲載)
- ・環境配慮設計のPJスタート

2-3. 「未来づくりロボットWeek」に出展

- ・EXPO2025 大阪・関西万博会場で日本を代表するロボット関連メーカーの技術が共演
- ・未来社会を支える技術として当社製品をアピール
- ・若年層、一般社会における当社認知度の向上

開催日: 2025年7月13日～19日

会場: EXPO2025 大阪・関西万博内「WASSE」

展示内容: 「じゃんけんロボットハンド」

「HD※vs平歯車vsギアなし」比較デモ
※ハーモニックドライブ®

来場者数: 26,760名



2-4. 「ESMATS2025」に参加

- ・世界的に権威のある宇宙関係の機構・潤滑シンポジウム
- ・HDSE※は宇宙用途向けに長寿命化を実現したアクチュエータをSener Aeroespacial社と共同開発し、当シンポジウムで共同発表
※Harmonic Drive SE(欧州子会社)
- ・ゴールドスポンサーとして展示ブースを出展
➡宇宙産業における機構部品として認知度の更なる向上



開催日: 2025年9月24日～26日

開催地: スイス、ローザンヌ

聴講者数: 約400名



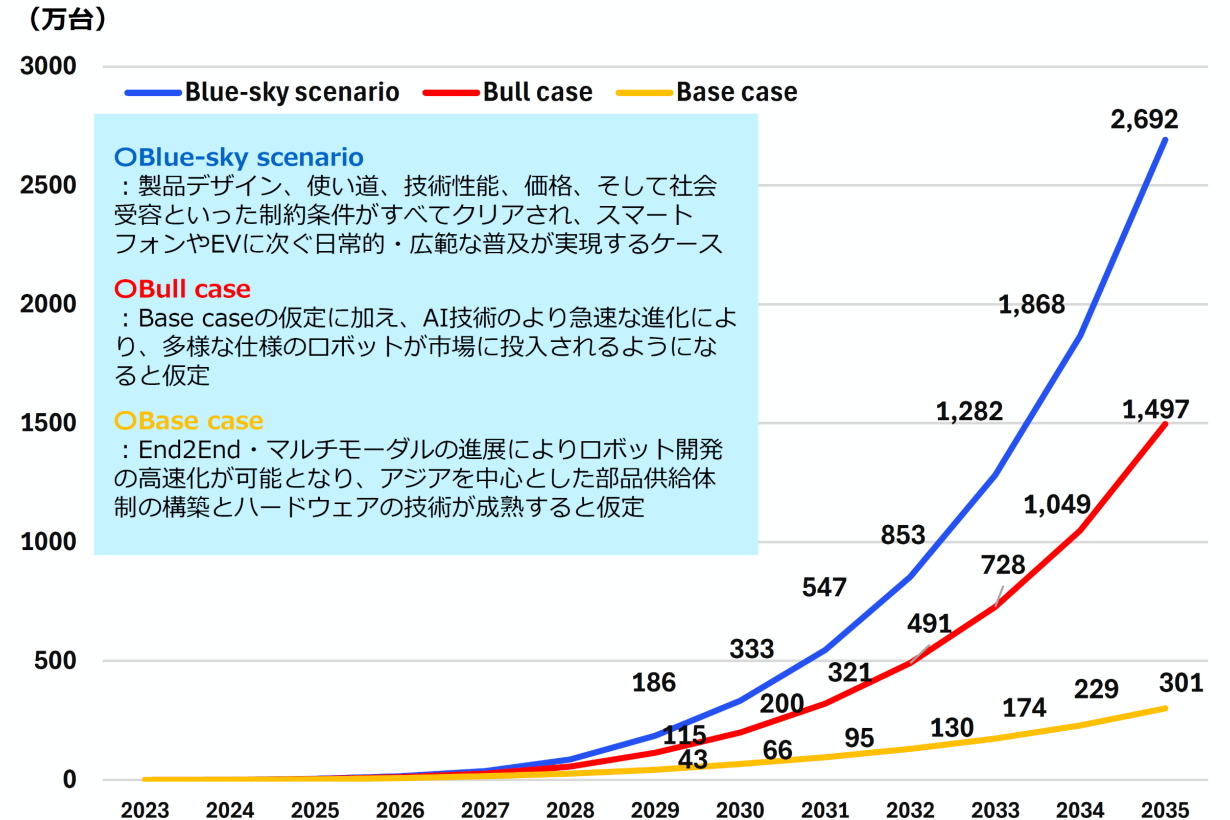
3. 新たなアプリケーション

3-1-1. AIロボット

■AIロボット市場へのスタンス

- ・AI(ロボットの「脳」)の進化が市場拡大の鍵
- ・当社グループは引き合いに応じて設備投資のタイミングを判断
- ・工場、物流、サービス分野に大きな成長を期待

ヒューマノイドロボット累計出荷台数



参照元：Goldman Sachs Research様「Humanoid robot: The AI accelerant.」

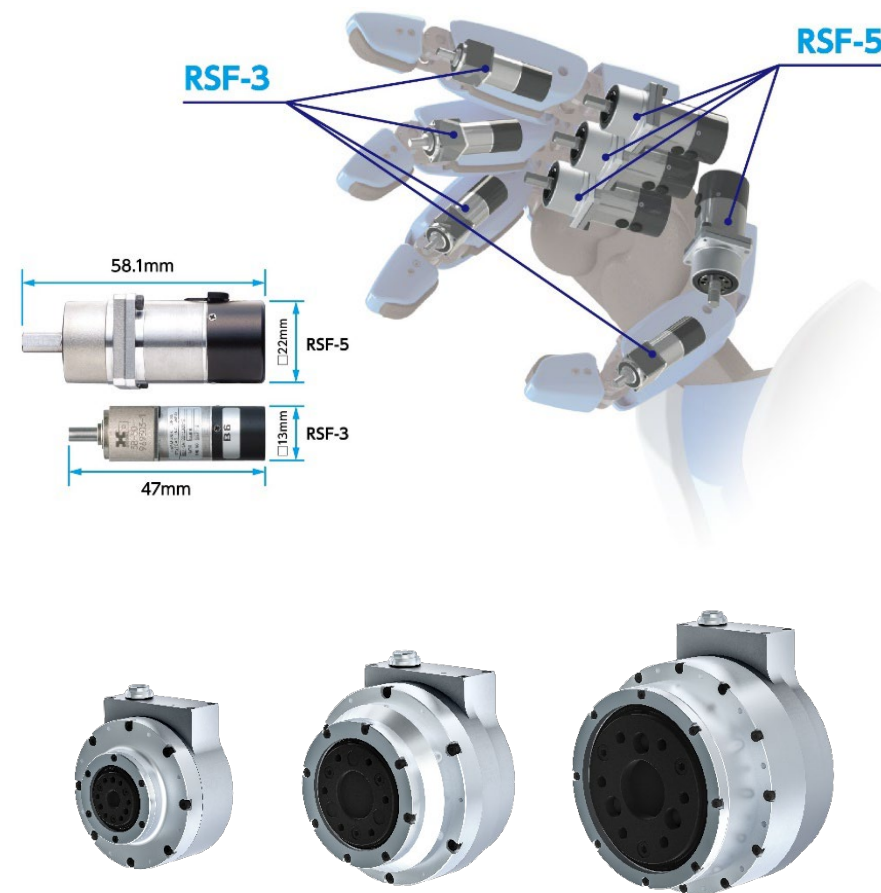
3-1-2. AIロボット

■開発フェーズ

- ・新たな市場を創出すると確信しているAIロボット分野において、参入機会を探る大手企業各社と積極的に協業を推進

■注力するAIロボットの構成要素

1. 骨格：多自由度設計による柔軟な動作
2. 器用な手指（特に汎用ロボットには）
 - ・ロータリーアクチュエータ（減速機）
3. 下肢
 - ・ドライバ内蔵遊星アクチュエータ（QDDモータ）



3-2. 宇宙産業

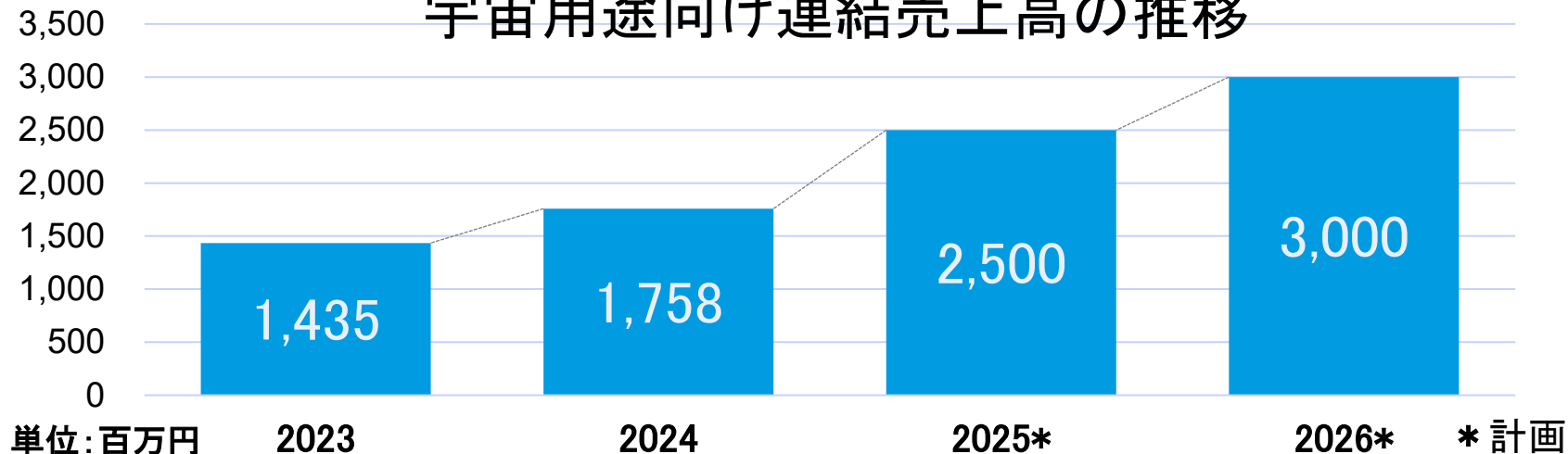
➤ 光学式衛星間リンクシステム

- ・衛星コンステレーション(多数の小型衛星による精密な編隊飛行)を実現する重要な技術
- ・Sener Aeroespacial社との共同開発により、当社グループ製品が衛星間の通信アンテナ制御用途に採用
- ・宇宙空間における高精度・長寿命が評価



2026年度連結売上高目標: 30億円以上(2023年度実績の2倍以上)

宇宙用途向け連結売上高の推移



提供: Sener Aeroespacial社様

3-3. e-Mobility

➤ eVTOL(電動垂直離着陸機)

- ・大阪・関西万博でデモ飛行を実施
- ・お客様の商業運航開始に向けて当社グループはeVTOL向け減速機の量産準備に着手



➤ 都市型小型EV

- ・Lean Mobility
- ・最先端のセンシングと制御技術により、安全で爽快な運転を実現
- ・車両の傾きを最適に制御しながら走行するアクティブリーン技術に当社製品が採用
- ・台湾限定の法人向け先行予約は1日で500台を突破※

※参照元: Lean Mobility株式会社様「ニュースリリース」(2025年8月23日)



提供: Lean Mobility株式会社様

4. 2025年度下期の取組み

4-1. 2025年度下期における取組み

①収益性を重視した全事業の持続的な成長

- 新たな成長ドライバーの開拓
 - ・「AIロボット用途」、「中国大手ローカルロボットメーカー」への深耕
 - ・ニーズを先取りするアクチュエーターの市場投入
 - ・宇宙関連ビジネスの国内市場開拓を加速
- 顧客期待値に応えるQCDS+Speedの徹底
 - ・“全社コスト革新PJ”の拡大と深耕
 - 通期目標10億円(値上げ効果含む)
 - ・顧客視点で競争優位性の高い製品をお客様に提案

②経営資源の強化

- 工場IoT化
 - ・DX推進による各業務プロセスの効率UP
- 資本効率を意識した成長投資
 - ・投資費用削減・スペース最小化・生産性を考慮した最適な設備選定と遊休設備の活用
 - ➡北米の生産能力増強に着手(AIロボット向け)

③未来に続く企業価値向上への取組み

- サステナビリティ基本方針に基づく活動
 - ・人権デューデリジェンスの実施
 - ・情報開示体制の強化
 - ・サステナブル調達強化
 - ・ステークホルダーエンゲージメントの向上

4-2. 国際シンポジウム



- 5年に一度開催
 - ・モーションコントロール技術の応用事例や将来動向に関する国際シンポジウムを実施し、技術交流を促進
- 産学連携による議論
 - ・世界の先端企業・研究機関とともに、AIロボット、医療機器、航空宇宙分野での応用可能性を検討
- グローバルネットワークの拡大
 - ・国内・欧米・アジアのお客様、パートナーとの関係深化

開催日: 2025年10月23日～24日

参加者: 371名

参加企業及び団体: 110

講演数: 20 (基調講演1, 海外9、国内6、当社及びグループ会社4)



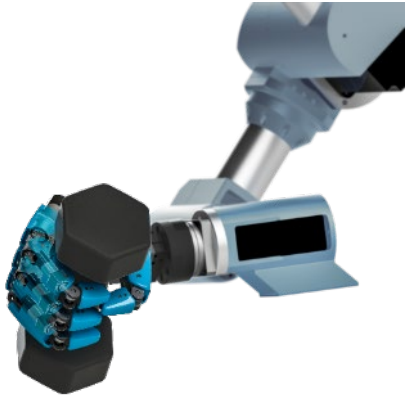
4-3. 「2025国際ロボット展」 開催期間: 2025年12月3日(水)～6日(土)

ヒューマノイドハンド

AIロボットを構成するアクチュエータ

骨格・下肢

【ハンドデモ: 把持力4kg】



【ドライバ内蔵高トルクアクチュエータ】

□50mm
L49mm



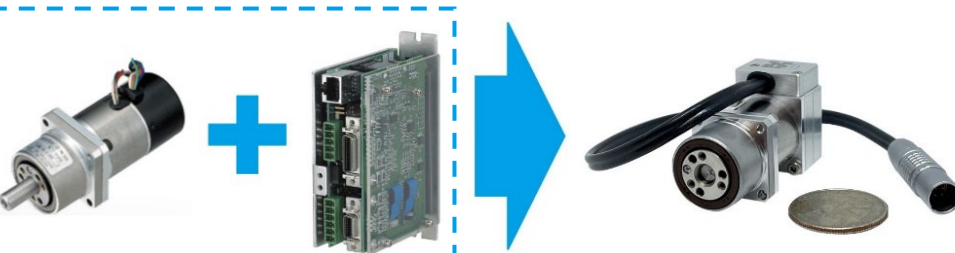
□60mm
L55.5mm



□90mm
L66.1mm



【ドライバ内蔵超小型アクチュエータ】



一体化

【ドライバ内蔵遊星アクチュエータ】

Φ83mm
L53mm



Φ100mm
L68.5mm



Φ127mm
L88mm



ブース位置: 東京ビッグサイト 東4号館 E4-05

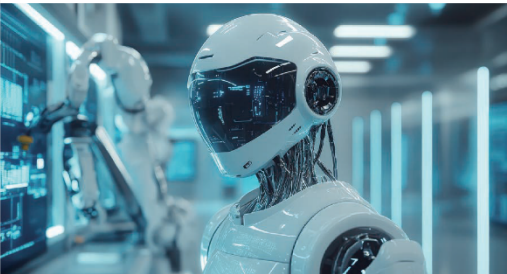
4-4. HDS REPORT 2025(統合報告書)

1

AIロボット市場・ 中国ロボット市場の成長戦略

AIロボット市場・中国ロボット市場の特集ページでは、人工知能(AI)の技術進歩により急速な発展を遂げているAIロボットの市場動向や、現地メーカーが台頭している中国ロボット市場に対する当社グループの戦略をお伝えします。

- [特集]
AIロボット市場に対する成長戦略 …… P13
- [特集]
中国ロボット市場に対する成長戦略 …… P14
- トップメッセージ …… P15



2

国内グループ会社 トップメッセージ

日本国内HDSグループ会社のトップメッセージでは、各社社長が自社製の特長、事業戦略、成長への強い想いを語ります。HDSグループのミッション、長期ビジョンの実現と中期経営計画の達成を実現するためのグループ各社の強みと取り組みをお伝えします。

- ハーモニック プレジジョン トップメッセージ …… P39
- ハーモニック・エイディ トップメッセージ …… P40
- ハーモニック ウィンベル トップメッセージ …… P41
- エッチ・ディ・ロジスティクス
トップメッセージ …… P42
- 青梅製造 トップメッセージ …… P44



3

機関投資家と 社外取締役の対話

機関投資家と社外取締役の対話では、HDSグループの持続的な企業価値向上に向けた、ガバナンスの実効性強化や収益性の改善に関する意見が交わされ、当社と投資家双方の視点から未来志向の対話が展開されました。

- 機関投資家と社外取締役の対話 …… P69



統合報告書



Harmonic Drive Systems Inc.

株式会社 ハーモニック・ドライブ・システムズ

2025年~2026年のトピックス

2025年5月:「第39回ハーモニックコンサート」(長野県安曇野市)を開催

2025年6月:信州安曇野ハーフマラソンにゴールドパートナーとして協賛

2025年7月:大阪・関西万博「未来づくりロボットWeek」に出展

2025年9月:「第23回ハーモニック講演会」(長野県松本市)を開催

2025年10月:「国際シンポジウム」(東京都)を開催

2026年1月:「CES」(米国ラスベガス)に初出展

